

第一次審査 質疑応答回答書

事項	質問内容	回答内容
(様式1)	提案者と担当者は同一人物でもよろしいでしょうか。	*「プロポーザル」ですから当然提案者と担当者は同一人物でなければならないのが原則です。
(様式2)	協力事務所も合わせて、全分野について現時点で記載をしておく必要がありますでしょうか。	様式2は、「要領」p5に記載の(1)第一次審査のア(今回の業務内容に応じた履行能力としての「組織力」)を主に確認するものであることから、そのことが確認できる記載内容として下さい。(「組織力」は内部、外部(JVにおける他社、協力事務所など)における関係者の連携により様々な課題に的確かつ総合的解決に向けた実行力)
(様式3)	各専門分野の主任技術者には協力事務所の担当者を記入してよいという理解で間違いございませんでしょうか。	様式3は、「要領」p5に記載の(1)第一次審査のウ(「設計担当チームの能力」)を主に問うものですから、そのことが判断出来る記載内容として下さい。
様式3-2 重複	様式3-2は様式3の抜粋となっておりますが、両様式とも提出が必要ですか。また、様式3-2を使用する場合は、電機・機械以外の技術者についても同様の資料を作成する必要がありますか。	現在ホームページにアップロードしている様式3には、シート「様式3-1」と「様式3-2」が存在しています。「様式3-2」は無視して下さい。 10月2日付けでファイルを入れ替えます。
「繁忙等」の書き方	第一次審査の審査内容に「設計事務所の実力」「繁忙等」と記載がありますが、様式1～3と主担当者の実績書類以外に提出する書類等はありませんでしょうか。(例えば、提案者所属事務所の経歴書、進行中案件リストなど)	「要領」p5に記載の「提出書類」の内、「配置予定の主担当となる技術者の実績」(任意様式A4縦又は横、片面)(10枚以内:追加記載)は必須です。事務所の経歴書等は任意とします。
スケジュール	新施設建替業務はどのようなスケジュールを想定されていますか(基本設計および実施設計期間、解体および建設期間、開設時期等)。	スケジュールは明確なものはありませんが、建設着手→来年秋 完成→2019年秋 と考えています。
予算	新施設建替業務に関する予算は、どれくらいの規模を想定されていますか。	規模、予算も明確なものはありません。最も合理的な内容(建築)において最も合理的な費用を目指しています。20億円前後であろうと予測しています。
協力事務所の職員	様式2は「協力事務所ごとにリストを作成すること」となっていますが、様式2には「※協力事務所に予定している所の職員は、人数の欄()内書きで記入してください」となっています。どちらで作成すれば良いですか。	「要領」p5にある「協力事務所ごとにリストを作成すること」は不要とし、様式2の「※協力事務所に予定している所の職員は、人数の欄()内書きで記入してください」で作成して下さい。
技術者の実績前職	技術者の実績として、前職で主たる任務として担当した業務は含むものと考えてよろしいでしょうか	その業務での立場によるもので、重要な役割(例えば主任技術者)を果たした業務であれば含んでいただいて結構です。
一級建築士登録通知協力事務所	一級建築士登録通知の写しは協力事務所の方も用意する必要がありますか。	協力事務所の分は不要です。
一級建築士代表者	「所属する技術者のうち、一級建築士2名以上を直接雇用している者」とありますが、雇用者自身が一級建築士である場合、その者も人数に含むと考えてよろしいですか。 上記2名は、事務所の主宰者(代表者)を含めた人数(例えば、代表者1名+スタッフ1名両名とも資格保有者)とすることは可能でしょうか。	本業務の特殊性(規定の障がい者施設でない施設の計画・設計業務、頻繁なワークショップ参加業務)を踏まえて企画・計画、基本設計、実施設計、設計監理までの期間継続して対応可能であれば可とします。
JVについて	多様な意見を取り込み、フラットな議論を促す為、複数の一級建築士事務所からなる設計JVを組むことを考えています。設計JVによる応募は可能と考えて良いでしょうか。 「参加資格につきまして、所属する技術者のうち、一級建築士2名以上を直接雇用している者。」とございますが、JVでの参加は可能でしょうか。 二社の一級建築士事務所によるJV(ジョイントベンチャー、設計共同体)にて提出することは可能でしょうか?	単に参加条件を満たすためのJVではなく、本業務の特殊性(規定の障がい者施設でない施設の計画・設計業務、ワークショップ参加業務)を踏まえた積極的なJVであれば可能です。